

E 普及・参考事項並びに試験研究の成果

1. 平成 27 年普及奨励事項、普及推進事項、指導参考事項、研究参考事項並びに行政参考事項

平成26年度北海道農業試験会議（成績会議）において、当年度までに完了した試験研究成績について、普及、研究、行政に提供される事項を決定した。そのうち、当場が担当または分担した提出課題（農業資材・農業機械性能調査関係課題を除く）は次のとおりである。

(1) 普及奨励事項

－優良品種－

（作物開発部会）

○大豆新品種候補「中育69号」（作物開発部作物グループ、生物工学グループ）

(2) 普及推進事項

－優良品種－

なし

－推進技術－

（農業環境部会）

○秋まき小麦「ゆめちから」の高品質安定栽培法（農業環境部栽培環境 G、作物開発部農産品質 G、農業研究本部企画調整部地域技術 G、上川農試研究部生産環境 G、地域技術 G、十勝農試研究部生産環境 G、地域技術 G）

（病虫部会）

○薬剤抵抗性ネギアザミウマの発生実態と防除対策（病虫部予察診断 G）

(3) 指導参考事項

（作物開発部会）

○りんごおい性台木「青台3」の特性と主要品種に対する JM系台木の適性（作物開発部作物グループ）

（生産システム部会）

○ YES!clean 農産物の流通実態と販売面におけるクリーン農産物表示制度の活用方策（生産研究部生産システムグループ）

（農業環境部会）

○有機栽培におけるたまねぎ・ばれいしょの窒素施肥基準と窒素負荷低減対策の実証（農業環境部栽培環境 G）

○有機栽培畑における生産力向上のための緑肥活用法（農業環境部栽培環境 G）

○疎水材暗渠の排水機能簡易診断と機能回復手法（生産研究部水田農業 G、農業環境部環境保全 G）

○疎水材暗渠の排水機能簡易診断と機能回復手法（生産研究部水田農業グループ）

（病虫部会）

○平成 26 年度の発生にかんがみ注意すべき病害虫（北海道立総合研究機構農業研究本部、北海道農政部技術普及課、北海道農業研究センター）

○斑点米カメムシの基幹防除期における効率的防除技術（病虫部クリーン病害虫グループ、道南農試生産環境グループ）

○菜豆のインゲンマメゾウムシに対する各種対策（十勝農試生産環境グループ、十勝農試生産システムグループ、病虫部予察診断グループ）

○ジャガイモ Y ウイルス普通系統（PVY-O）に対する特異抗体の作製と利用法（病虫部予察診断グループ）

○特別栽培のためのキャベツ病害虫の防除体系（病虫部クリーン病害虫グループ）

○たまねぎのべと病に対する防除対策（北見農試生産環境グループ、病虫部予察診断グループ、クリーン病害虫グループ）

(4) 研究参考事項

なし

(5) 行政参考事項

（生産システム部会）

○水田作・畑作経営の規模拡大による所得増大効果と経営安定対策の影響評価（生産研究部生産システムグループ）

（農業環境部会）

○水田への疎水材暗渠の整備による温室効果ガス排出抑制の効果（生産研究部水田農業グループ）

2. 論文ならびに資料

(1) 研究論文、試験成績

作物開発部

○藤田正平，黒崎英樹，大西志全，笛木伸彦．道央転換畑地帯における大豆狭畦栽培の現状と適正な栽植密度．北農，82(1)，p. 34-43(2014)

○Yamaguchi, N., Kurosaki, H., Ishimoto, M., Kawasaki, M., Senda, M. and Miyoshi, T. Early-maturing and chilling-tolerant soybean lines derived from crosses between Japanese and Polish cultivars. *Plant Prod. Sci* **6**, p. 234-239 (2015)

○小林聡, 吉村康弘, 神野裕信, 佐藤三佳子, 来嶋正朋, 足利奈奈, 西村努, 池永充伸, 中道浩司, 柳沢朗, 荒木和哉, 谷藤健, 樋浦里志. 秋まきコムギ新品種「つるきち」の育成. 北海道立総合研究機構農試集報. **98**, p. 1-14 (2014)

○神野裕信, 吉村康弘, 西村努, 小林聡, 佐藤三佳子, 足利奈奈, 来嶋正朋, 中道浩司, 柳沢朗, 池永充伸, 荒木和哉, 谷藤健, 樋浦里志, 田引正. 秋まきコムギ新品種「きたさちほ」の育成. 北海道立総合研究機構農試集報. **99**, p. 35-46 (2015)

○Yamashita, Y., Takeuchi, T., Okuyama M., Sasaki, J., Sato, M., Souma, C. and Ebe, S. Development and validation of DNA markers linked to *Sdvy-1*, a gene conferring resistance to the yellowing strain of *Soybean dwarf virus*. *Breeding Science* **64**, p. 404-408 (2014)

○堀田治邦, 佐々木純, 竹内徹. ジャガイモYウイルスえそ系統に対するモノクローナル抗体作製とELISAによる検出. 北海道立総合研究機構農試集報. **98**, p. 65-75 (2014)

○堀田治邦, 高濱雅幹. 北海道におけるサツマイモつる割病の発生と品種別感受性の差異. 北日本病害虫研究会報. **65**, p. 32-36(2014)

○堀田治邦, 三澤知央, 植野玲一郎, 細淵幸雄, 富沢ゆい子. 北海道におけるリーキ腐敗病の発生. 北日本病害虫研究会報. **65**, p. 76-81(2014)

○堀田治邦, 植野玲一郎, 細淵幸雄, 富沢ゆい子. 品種および栽培法の違いがリーキ腐敗病の発生に与える影響. 北日本病害虫研究会報. **65**, p. 82-84 (2014)

○中道浩司, 五十嵐俊成, 高松聡, 佐藤三佳子, 柳原哲司. 秋まき小麦「きたほなみ」の越冬前生育と播種後有効積算気温の関係. 日作紀. **83**, p. 267-272 (2014)

○大塚省吾, 沢口敦史, 笛木伸彦, 中道浩司. 土壌窒素肥沃土に対応した春まき小麦「はるきらり」の栽培法. 日本土壌肥料学会誌. **86**, p. 38-41 (2015)

生産研究部

○平石学. 大規模水田作経営における会計情報の活用と実績把握に関する実態分析. 農業経営研究

○鈴木剛. ドイツ・バイエルン州における「境界越え農法」. 農業農村工学会誌. **82-11**, p. 892-893

○濱村寿史. 有機農業に取り組む新規参入者の成長プロセス—北海道における有機トマト導入経営を対象として—. 農業経営研究

○木下雅文. 直播品種の現状と展望. 北農. **81**, p. 320-324(2014)

○尾崎洋人. 水稻新品種「空育180号」. 北農**81-2**, p. 28(2014)

○尾崎洋人. 水稻新品種「空育酒177号」. 北農**81-2**, p. 29(2014)

○佐々木亮. 道内における水稻直播技術の進歩—湛水直播における技術の進歩—. 北農. **81-4**, p. 23-29(2014)

○塚本康貴. 水田への疎水材暗渠の整備による温室効果ガス排出抑制の効果. 農業農村工学会誌. **82-8**, p. 629-632(2014)

○塚本康貴. 暗渠整備による炭素貯留技術の温暖化緩和ポテンシャル. 農業農村工学会誌. **82-8**, p. 641-644(2014)

農業環境部

○小野寺政行, 板垣英祐, 古館明洋, 木谷祐也, 日笠裕治. 移植タマネギにおける葉面散布およびポット内施肥を用いたリン酸減肥技術. 日本土壌肥料学雑誌. **85(3)**, p. 245-249 (2014)

○古館明洋, 須田達也, 日笠裕治. 道央水田転換畑における秋まき小麦「きたほなみ」の大豆畦間ばらまき栽培法. 北農. **81(3)**, 219-226(2014)

○Peng Wang, Kousaku Souma, Hideki Okamoto, Tatsunori Yano, Masayuki Nakano, Akihiro Furudate, Chihiro Sato, Jiabao Zhang, Takayoshi Masuko. Effects of Addition of *Lactobacillus plantarum* and *Enterococcus faecium* Inoculants to High-Nitrogen Fertilized Timothy (*Phleum pratense* L.) on Fermentation, Nutritive Value, and Feed Intake of Silage. *American Journal of Plant Sciences*. **5**, 3889-3897(2014)

○坂口雅己. トマトにおける窒素栄養についての診断法と生理に基づいた養液土耕栽培技術. 北海道総合研究機構農業試験場報告. **139**, p. 1-53 (2014)

○坂口雅己, 中辻敏朗, 松本武彦, 牧野司, 木場稔信, 杉川陽一. 燃料用資源作物としてのススキ栽培におけるエネルギー収支比. 北農. **82(1)**, p. 50-55 (2015)

○中辻敏朗, 笛木伸彦, 中津智史, 鈴木慶次郎, 志賀弘行. Capacity model をもとにした積雪寒冷地畑の月別土壌浸透水量簡易推定モデル. 日本土壌肥料学雑誌. **85(3)**, p. 185-193 (2014)

○Seishi Ikeda, Keijiro Suzuki, Makoto Kawahara, Masao Noshiro, Naokazu Takahashi. An assessment of

Urea-Formaldehyde Fertilizer on the Diversity of Bacterial Communities in Onion and Sugar beet. *Microbes and Environments*. 29(2), p.231-234 (2014)

病虫部

○橋本庸三. 北海道におけるアカヒゲホソミドリカミカメの休眠卵率の季節的推移. 北日本病害虫研究会報. 65, p. 125-128 (2015)

○Iwata Y., Hirota, T., Yazaki, T., Iwasaki, A., Suzuki, T., Inoue, S., and Usuki, K. Effects of saturated hydraulic conductivity on volunteer potato (*Solanum tuberosum* L.) tuber survival. *Soil Science and Plant Nutrition*. 61(2), p.235-241 (2015)

○齊藤美樹, 本田善之, 森直樹, 天野洋. 粒状有機質肥料の土壌表面散布によるハウレンソウケナガコナダニ被害軽減効果. 日本応用動物昆虫学会誌. 58, p. 153-161 (2014)

○東岱孝司. 北海道におけるダイズシストセンチュウによるアズキの減収被害. 北日本病害虫研究会報. 65, p. 139-145 (2015)

○東岱孝司. 北海道北部のアズキにおけるダイズシストセンチュウの発生実態および殺線虫剤による防除効果. 北日本病害虫研究会報. 65, p. 146-150 (2015)

○山名利一, 神野裕信. コムギ雪腐黒色小粒菌核病の地下部感染に対する薬剤の効果と品種の抵抗性. 北日本病害虫研究会報. 65, p. 28-31 (2014)

○野津あゆみ, 中保一浩. 北海道におけるトマト青枯病発生圃場の汚染程度と異なる温度および菌密度での高接ぎ木栽培の発病抑制効果. 北日本病害虫研究会報. 65, p. 54-58 (2015)

○野津あゆみ, 中保一浩. 北海道におけるトマト青枯病に対する深耕土壌還元消毒と高接ぎ木の組み合わせ処理の防除効果. 北日本病害虫研究会報. 65, p. 59-63 (2015)

企画調整部地域技術グループ

○田中一生, 平山裕治, 丹野久. 北海道と兵庫県の酒造好適米における農業特性と酒造適性の比較. 日作紀84(2), p. 182-191 (2015)

○田中一生, 玉掛秀人. 20周年を迎えた地域農業技術センター連絡会議(NATEC)の活動報告. 北農82(2), p. 91-93 (2015)

○五十嵐俊成. 米粉のヨウ素吸収マルチスペクトル解析による新食味評価法の開発. 応用糖質科学. 第4巻.第3号, p. 202-205 (2014)

○五十嵐俊成, 佐藤毅. 水稻新品種「きたくりん」の栽培特性と栽培指針. 北農. 第82巻.第1号, p. 21~27 (2014)

○三澤知央, 富沢ゆい子, 植野玲一郎, 菅原章人. *Stemphylium vesicarium* によるリーキ葉枯病. 北日本病害虫研究会報. 第65号, p. 72~75 (2014)

○Hiroaki Matsuhira, Ken-ichi Tamura, Hideto Tamagake, Yutaka Sato, Hiroyuki Anzai, Midori Yoshida. High production of plant type levan in sugar beet transformed with timothy (*Phleum pratense*) 6-SFT genes. *Journal of Biotechnology*. 192 p.215-222 (2014)

(2) 口頭発表 (ポスター発表含む)

作物開発部

○山口直矢, 黒崎英樹, 青山聡, 石本政男, 三好智明, 千田峰生. ポーランドのダイズ品種を用いた早生耐冷性系統の開発と早生に関与するゲノム領域の推定. 育種学研究. 17(別1), p. 16

○齋藤裕太郎, 安達栄介, 池永充伸, 佐藤康一. オウトウの果肉色に関するASPマーカーの開発. 園芸学研究. 14(別1). p. 59 (2015. 3. 28)

○山下陽子, 神野裕信, 大西志全, 粕谷雅志, 其田達也. タンパク質含有率に関わる遺伝子*Gpc-b1*を導入した秋まき小麦系統のタンパク質含有率と農業特性. 日本育種学会・日本作物学会北海道談話会報. 55, p.45-46 (2014)

○鈴木孝子, 井上哲也, 西村努, 浅山聡, 吉村康弘. ホクシンの雪腐病抵抗性QTL解析. 日本育種学会・日本作物学会北海道談話会報. 55, p. 47-48 (2014)

○鈴木孝子. DNAマーカー～品種改良最前線～. ランチタイムセミナー (2014. 8. 22)

○堀田治邦, 鈴木孝子, 小倉玲奈. ELISAによるコムギ根からのコムギ縞萎縮ウイルスの検出. 日本植物病理学会報. 81(1), p. 91 (2015)

○堀田治邦, 小倉玲奈, 山下陽子, 鈴木孝子. ビーズ式多検体細胞破碎装置を用いたELISAによるコムギ縞萎縮ウイルスの検定法. 第68回北日本病害虫研究発表会. (2015. 2. 19)

○柳原哲司. 道総研戦略研究(食産業)第I期の成果とII期に向けた展望, HoPE3月例会, (2015. 3. 11)

○柳原哲司. 道産小麦が生み出す食感を活かした新たな食品開発, 第2回道総研オープンフォーラム プログラム講演要旨集, p. 59-62 (2014)

○柳原哲司. 北海道米の業務用適性を評価する, 平成26年度北海道地域マッチングフォーラム (2014. 12. 4)

○小宮山誠一, 内田哲嗣. 近赤外分光法による西洋なし

の熟度(糖度, 果肉硬度)非破壊評価法. 日本食品科学工学会2015年北海道支部大会講演要旨集. p. 35(2015)

○佐藤恵理, 小宮山誠一. 携帯型近赤外分光器による馬鈴しょ「スノーマーチ」のデンプン価非破壊評価法. 日本食品科学工学会2015年北海道支部大会講演要旨集. p. 20(2015)

○小宮山誠一. おいしさを閉じ込めた常温長期保管可能なパウチ果実加工品の開発と活用. 北海道中小企業家同友会産学官連携研究会HoPE3月例会. 道総研プラザ. (2015. 3. 11)

○小宮山誠一. 期待の馬鈴しょ品種「スノーマーチ」を活用した食品開発. 道総研オープンフォーラム. 東京ドームホテル. (2014. 11. 27)

○小宮山誠一. おいしさをとじ込めた常温長期保管可能なパウチ果実加工品. 特許シーズ活用ビジネス交流会. TKPガーデンシティ札幌駅前. (2015. 2. 12)

○小宮山誠一. 馬鈴しょのエチレン貯蔵による長期出荷技術. 北海道大学・道総研 研究交流会. 北海道大学創成科学研究棟. (2014. 12. 3)

○富沢ゆい子, 加藤淳, 小宮山誠一, 森本吉徳, 松原範宜, 大橋浩, 鎌田善樹. 色彩選別機により粒選別したアズキのポリフェノール含量と調理加工特性. 日本食品科学工学会第61回大会講演集. p. 77(2014)

○阿部珠代. 「ゆめちから」の品質変動がパン・中華麺加工適性に及ぼす影響. 第6回グルテン研究会. (2014. 5. 10)

生産研究部

○平石学. 主業農家の農業技術導入・改善行動に関する考察. 北海道大学経営シンポジウム(2014. 7. 25)

○平石学. 大規模水田作経営における会計情報の活用と実績把握に関する実態分析. 日本農業経営学会. (2014. 9. 20)

○平石学. 産業振興施策の策定・実施に向けたコンサルティング手法の開発・実証について. 札幌市立大学研究交流会. (2014. 10. 14)

○鈴木剛, 岩崎暁生, 原圭祐, 渡邊祐志. 隣接圃場における同時傾斜均平施工法の評価. 農業食料工学会北海道支部

○濱村寿史. 有機農業に取り組む新規参入者の成長プロセス—北海道における有機トマト導入経営を対象として—. 日本農業経営学会. (2014. 9. 20)

○日向貴久. 農外産業との連携による地域振興. 北海道農業研究会. (2014. 5. 31)

○尾崎洋人. 酒造好適米開発の取り組み経過と新品種「きたしずく」の諸特性. 北海道醸造技術研究会. 札幌市(2

014. 6. 7)

○尾崎洋人. 酒造好適米開発の取り組み経過と新品種「きたしずく」の所得性. 宮城県酒造技術者交流会. 仙台市(2014. 7. 2)

○尾崎洋人. 水稻新品種「空育180号」の特性紹介. 平成26年度北海道マッチングフォーラム. 札幌市(2014. 12. 4)

○中村隆一. コムギに対するケイ酸加里の施用効果と土壤水分の影響. 日本土壤肥料学会北海道支部秋季大会講演要旨集. p. 9(2014)

○佐々木亮. 北海道の水稻直播栽培の技術開発と大区画圃場への適応性. 農業農村耕学会北海道支部研修会

農業環境部

○板垣英祐, 笛木伸彦, 甲田裕幸, 竹内晴信. クローバリビングマルチを活用したそば栽培技術の開発. 日本土壤肥料学会2014年度東京大会講演要旨. p. 106(2014)

○岡元英樹, 古館明洋, 新宮裕子. 窒素施肥量がオーチャードグラスの飼料成分と糖含量. サイレージ発酵に及ぼす影響. 日本土壤肥料学会北海道支部秋季大会講演要旨. p. 11(2014)

○杉川陽一, 鮫島良次, 下田星児, 日笠裕治. 融雪日を基準とした有効積算気温による秋まき小麦の出穂・成熟期予測. 日本農業気象学会北海道支部2014年大会講演要旨集. B33-34(2014)

病虫部

○清水基滋. コムギスッポヌケ病の発生生態と防除. 生態と防除研究会ニューズレター. 7, p. 3-9(2014)

○相馬潤. 雪腐褐色小粒菌核病による秋播コムギの減収程度. 日植病報. 80(4), p. 286(2014)

○相馬潤. 2013年に北海道のコムギから分離されたT-2トキシンおよびHT-2トキシン産生菌について. 日本マイコトキシン学会第75回学術講演会(2014).

○相馬潤. 雪腐褐色小粒菌核病が起生期以降の秋播コムギの茎数に及ぼす影響. 日植病報. 81(1), p. 90(2014)

○相馬潤, 長浜恵. コムギ雪腐褐色小粒菌核病に対する殺菌剤の残効性. 第68回北日本病害虫研究発表会. (2015)

○小松勉. カノコソウ半身萎凋病(新称)の発生について. 日植病報. 80(4), p. 251(2014)

○西脇由恵. 北海道におけるトマト褐色根腐病の発生実態と総合防除対策. 日本植物病理学会土壤伝染病談話会. (2014)

○西脇由恵, 佐藤衛, 白井佳代, 小林佐代. *Peronosporastices*によるスターチスべと病(新称). 日植病報. 80

(4), p. 241 (2014)

○西脇由恵, 真鍋照彦, 鹿野理. サンダーソニアに発生した根腐れ症状について. 北日本病害虫研究会報. **65**, p. 200 (2014)

○Saito, M. Composition of predatory mite species in spinach greenhouses and their predatory abilities against *Tyrophagus similis* Volgin. XIV International Congress of Acarology. (2014)

○Saito, M. and Takaku, G. History and recent advance in Acarology in Japan. XIV International Congress of Acarology. (2014)

○齊藤美樹. 短期間大量灌水のハウレンソウケナガコナダニ被害軽減効果. 第59回日本応用動物昆虫学会. (2015)

○東岱孝司. ダイズシストセンチュウ抵抗性アズキにおけるセンチュウの発育抑制. 日植病報. **81**(1), p. 89-90 (2014)

○山名利一, 小澤徹. コムギ雪腐黒色小粒菌核病および雪腐大粒菌核病に対する殺菌剤の残効性の評価. 日植病報. **80**(4), p. 289 (2014)

○山名利一. 殺菌剤の残効性に基づいたコムギ雪腐病に対する薬剤散布技術について. 日本植物病理学会北海道部会年報. 第216回談話会講演要旨, p. 8-13 (2014)

○児玉不二雄, 山名利一, 阿部晴夫, 園田高広. タマネギ紅色根腐病菌によるタマネギ茎盤の褐変症状の発現. 日植病報. **81**(1), p. 90 (2015)

○児玉不二雄, 山名利一, 阿部晴夫, 園田高広. タマネギ紅色根腐病による茎盤褐変症状の発生および本病に対する品種間発病差異. 北海道園芸研究談話会報. **48**, p. 72-73 (2015)

○野津あゆみ. 北海道の施設園芸における生物防除. 第13回バイオコントロール研究会 (生物農薬の実用化に向けた展望) 講演要旨, p. 11-18 (2014)

○野津あゆみ, 高田和明. 北海道におけるレタスうどんこ病の発生. 第68回北日本病害虫研究発表会. (2015)

○荻野瑠衣, 武澤友二. 平成26年の北海道におけるたまねぎのネギハモグリバエ発生状況. 平成27年度日本応用動物昆虫学会大会. (2015)

企画調整部地域技術グループ

○田中一生, 岩間和人. 北海道と府県の酒造好適米における醸造適性の比較 第3報 各品種における農業特性と醸造適性の関係. 日本作物学会第237回講演会要旨集・資料集. 作物学会紀事**83**(別1), p. 246-247 (2014)

○田中一生, 岩間和人. 北海道と東北以南における酒造好適米の醸造適性の比較 第4報 気象条件と醸造適性

の関係. 日本作物学会第238回講演会要旨集・資料集. 作物学会紀事**83**(別2), p. 10 (2014)

○田中一生, 岩間和人. 北海道と兵庫県の酒造好適米における気象条件と醸造適性の関係. 日本育種学会・日本作物学会北海道談話会報. **55**, p. 31-32 (2014)

(3) 専門雑誌記事

作物開発部

○藤田正平. 道央転換畑地帯における大豆狭畦栽培. 農家の友. 12月号. p. 46-48 (2014)

○藤田正平. 大豆狭畦栽培 道央転換畑地帯の適正な栽植密度. ニューカントリー. **732**. p. 56-58 (2015)

○池永充伸. ジベレリン処理不要の良食味ぶどう「GHC1」. ニューカントリー. **721**, p. 10-12 (2014)

○吉田昌幸. 道外育成りんごの特性, ニューカントリー. **728**, p. 52-53 (2014)

○内田哲嗣. 果樹の防寒対策, 農家の友. 12月号, p. 41-43 (2014)

○柳原哲司. 北海道北部 (上川北部・留萌) における春まき小麦「春よ恋」の初冬まき栽培施肥基準, 農業と科学. **664**, p. 1-5 (2014)

○富沢ゆい子. 新たな輪作作物としての子実用とうもろこし. 農家の友. 7月号, p. 108-109 (2014)

○富沢ゆい子. 「新・輪作作物」で国内シェア奪取～道央転作地帯の子実用とうもろこし～. ニューカントリー. **730**, p. 64-66 (2015)

○富沢ゆい子. 子実用とうもろこしの輪作体系への導入効果. グリーンテクノ情報. **10-4**, p. 11-13 (2015)

○阿部珠代. 超強力小麦「ゆめちから」品質変動が及ぼすブレンド粉の加工適性. ニューカントリー. **723**, p. 48-49 (2014).

遺伝資源部

○吉村徹. 水稻種子生産における栽培管理の取り組み. あぐりぽーと. No. **112**, P3-5 (2014)

生産研究部

○鈴木剛. 水稻適期収穫・乾燥調製のポイント. 北海道米麦改良9月号, p. 1-2 (2014)

○鈴木剛. 隣接圃場における同時傾斜均平施工. 機械化農業11月号, p. 16-19 (2014)

○濱村寿史. 有機トマトを導入する小規模経営の安定化方策. ニューカントリー. **726**, p. 56-57 (2014)

○尾崎洋人. 業務用途に適する水稻新品種「空育180号」. 農家の友. 8月号, p. 62-63 (2014)

- 尾崎洋人. 「きらら397」引き継ぐ業務用品種「空育180号」. ニューカントリー. 5月号, p. 12-14(2014)
- 尾崎洋人. 酒チェン進める新ラインナップ「空育酒177号」. ニューカントリー. 5月号, p. 15-17(2014)
- 佐々木亮. 水稲直播栽培の技術開発と大区画圃場への適応性. 農家の友. 4月号, p. -(2014)
- 尾崎洋人. たくさんとれる業務用向け道産米新品種「空育180号」. JATAFFジャーナル. 3(1), p. 26-27(2015)
- 中村隆一. 淡色野菜でありながら、緑黄色野菜と同じ強い抗酸化力を持つキャベツ。若採りの巻きのゆるいものがおすすめ. 健康, p. 82-83(2015)

農業環境部

- 加藤淳. 北海道産豆類の機能性と付加価値向上戦略(1). 週間農林. 2214, p. 4-5(2014)
- 加藤淳. 北海道産豆類の機能性と付加価値向上戦略(2). 週間農林. 2216, p. 4-5(2014)
- 加藤淳. 北海道産豆類の機能性と付加価値向上戦略(3). 週間農林. 2220, p. 12-13(2014)
- 加藤淳. 北海道における農林バイオマスの可能性と課題(研究の背景と将来方向). グリーンテクノ情報. 10(3), p. 2-6(2014)
- 加藤淳. 地域力と健康力を高める(十勝産豆類の健康機能性). 健康都市デザイン. 5, p. 58-59(2014)
- 古館明洋. 秋まき小麦「きたほなみ」の大豆畦間ばらまき栽培. 農家の友. 66(8), p. 90-92(2014)
- 櫻井道彦. 農学校1年1組たまねぎの時間【有機栽培技術】. ニューカントリー. 727, p. 36-37(2014)
- 櫻井道彦. 有機栽培畑における土壌窒素診断技術. 土づくりとエコ農業. 522, p. 34-39(2014)
- 杉川陽一. 過去のデータを使った「きたほなみ」の窒素施肥設計と生育管理. あぐりぼと. 108, p. 14(2014)
- 杉川陽一. 技術特集 生産実績から「きたほなみ」の施肥設計できる生育管理ツール [簡易に最適な窒素量をシミュレート]. ニューカントリー. 4月号, p. 21-22(2014)
- 杉川陽一. 過去のデータを使った「きたほなみ」の施肥設計法と生育管理ツール ~NDAS, *makiDAS*, *T-NDAS* ~. 農家の友4月号, p. 47-49(2014)

病虫部

- 橋本庸三. 身近になる特別栽培一開発技術と栽培のポイント. ニューカントリー. 725, p. 16-18(2014)
- 岩崎暁生. 特集 2015 作物展望 病害虫. ニューカントリー. 730, p. 52-53(2014)
- 相馬潤. 小麦の雪腐褐色小粒菌核病と褐色雪腐病防除

- の考え方. あぐりぼと. 6月号, p. 6-8(2014)
- 相馬潤. 「小麦の雪腐病防除が変わる」. ニューカントリー. 726, p. 15-17(2014)
- 西脇由恵. ハウス野菜栽培を土から考える一問題となる土壌病害と対策一. ニューカントリー. 724, p. 13-15(2014)
- 小松勉. 平成26年度に北海道で新たに発生を認めた病害虫. 農家の友. 65(3), p. 4-11(2015)
- 東岱孝司. 障害耐性に対応した水稲主要病害虫の防除指針. 農家の友. 66(7), p. 40-42(2014)
- 齊藤美樹. 捕食性ヤドリダニ類を用いたハウレンソウケナガコナダニの防除: 捕食能力の高い数種から生物農薬としての適性を探る. グリーンレポート. 543, p. 12-13(2014)
- 武澤友二. 平成25年に多発したネギハモグリバエの被害と発生経過. 農家の友. 66(5), p. 86-87(2014)
- 武澤友二. 各種作物で多発が予想されるヨトウガの防除対策. ニューカントリー. 724, p. 78-79(2014)
- 武澤友二. 薬剤抵抗性ネギアザミウマの発生実態と防除対策. ニューカントリー. 733, p. 22-23(2015)
- 山名利一. 技術特集 小麦の雪腐病防除が変わる 菌種別の特徴と発生状況. ニューカントリー. 726, p. 12-14(2014)
- 野津あゆみ. 北海道におけるばれいしょのウイルス病とその対策. いも類振興. 121, p. 15-19(2014)
- 野津あゆみ. 採苗施設と水田転換畑を利用したイチゴの自立型採苗方式. 農家の友. 66(11), p. 40-42(2014)
- 野津あゆみ. 「自立型採苗方式」で健全苗生産. ニューカントリー. 725, p. 54-55(2014)

企画調整部企画課

- 古原洋. 北海道における除草剤抵抗性雑草の発生状況と対策. 農業及び園芸. 90(1), p. 191-197(2015)
- 杉本昌仁. 肉牛の新生子牛・育成牛の栄養管理. 臨床獣医. 9月号, p. 58-63(2014)
- 杉本昌仁. 肉牛: 肥育牛(肥育前期~後期)における栄養管理. 臨床獣医. 10月号, p. 54-59(2014)
- 杉本昌仁. 肉牛: 繁殖牛の栄養管理. 臨床獣医. 11月号, p. 49-53(2014)

(4) 著編書資料

作物開発部

- 堀田治邦. 農業総覧 花卉病害虫防除編. 追録13号 2巻 デルフィニウム(モザイク病, 斑点細菌病, 軟腐

病，うどんこ病、灰色かび病，白絹病，立枯病）．農山漁村文化協会．p. 603-628（2015）

○堀田治邦．農業総覧 花卉病虫害防除編．追録13号 2巻 ベゴニア（うどんこ病、灰色かび病）．農山漁村文化協会．p. 293-296（2015）

○堀田治邦．農業総覧 花卉病虫害防除編．追録13号 2巻 ユリ類（腐敗病）．農山漁村文化協会．p. 537-538（2015）

○柳原哲司．第6章 道総研フードイノベーション戦略．“戦略研究報告書，北海道の総合力を生かした付加価値向上による食産業活性化の推進（平成22～26年度）”．地方独立行政法人北海道立総合研究機構，p. 96-103（2015）

○小宮山誠一．第3章 加工適性に優れた馬鈴しょの選別技術と加工製品の開発．“戦略研究報告書，北海道の総合力を生かした付加価値向上による食産業活性化の推進（平成22～26年度）”．地方独立行政法人北海道立総合研究機構，p. 30-46（2015）

○阿部珠代．第4章 道産素材の特性を活かした小麦加工技術及び加工製品の開発．“戦略研究報告書，北海道の総合力を生かした付加価値向上による食産業活性化の推進（平成22～26年度）”．地方独立行政法人北海道立総合研究機構，p. 47-56（2015）

○中道浩司，小宮山誠一，小谷野茂和．第3編ケルセチン・イソフラボンの生活習慣病予防機能の科学的エビデンス強化 3. イソフラボンの分析技術の研究開発．“研究成果 農林水産資源を活用した新需要創出プロジェクト”．農林水産技術会議事務局編．農林水産省，p. 236-239（2015）

○中道浩司．機能性に優れた豆類選別技術と加工製品の開発，2.1選別技術の開発と利活用2.1.1近赤外分析による大豆イソフラボン含量の簡易評価法の開発．“戦略研究報告書 北海道の総合力を生かした付加価値向上による食産業活性化の推進（平成22～26年度）”．竹内徹（等）編．地方独立行政法人北海道立総合研究機構．p. 8-10（2015）

生産研究部

○平石学．大規模畑作農業における大規模経営の展開と適正規模．農林統計出版．p. 65-81（2014）

○平石学．担い手はどうなるか，そこで考えなくてはならないこと．激変に備える農業マネジメント．北海道協同組合通信社．p. 14-17（2014）

○日向貴久．農産物の生産費集計システム．激変に備える農業マネジメント．北海道協同組合通信社．p. 31-36（2014）

○平石学．生産費集計システムを活用した作物別原価の

分析．激変に備える農業マネジメント．北海道協同組合通信社．p. 37-41（2014）

○平石学．法人経営と家族経営を分析する枠組みと活用激変に備える農業マネジメント．北海道協同組合通信社．p. 42-45（2014）

○濱村寿史．法人向け分析手法．激変に備える農業マネジメント．北海道協同組合通信社．p. 46-50（2014）

○岡田直樹．分析から計画へ．激変に備える農業マネジメント．北海道協同組合通信社．p. 60-62（2014）

○岡田直樹．持続的営農への農業経営からの地域マネジメント．激変に備える農業マネジメント．北海道協同組合通信社．p. 90-94（2014）

○白旗雅樹．農機による排水改善のポイント・耕起．北海道の排水・かんがい対策．北海道協同組合通信社．p. 22-26（2014）

○鈴木剛．農機による排水改善のポイント（心土破碎）．北海道の排水・かんがい対策．北海道協同組合通信社．p. 32-37（2014）

○吉田邦彦．農機による排水改善のポイント（管理機の活用）．北海道の排水・かんがい対策．北海道協同組合通信社．p. 38-42（2014）

○塚本康貴．北海道の排水・かんがい対策集．ニューカントリー2014年秋季臨時増刊号．北海道協同組合通信社．p. 50-55（2014）

○塚本康貴．北海道の排水・かんがい対策集．ニューカントリー2014年秋季臨時増刊号．北海道協同組合通信社．p. 84-91（2014）

○塚本康貴．「集中管理孔」を活用した地下かんがい技術．米麦改良協会普及啓蒙資料．北海道米麦改良協会．p. 1-7（2014）

農業環境部

○加藤淳．（監修）食品加工と栄養．食べ物と健康Ⅲ．食べ物と健康シリーズ．p. 1-198，2014．

○加藤淳．（全章監修）．“畑の土づくり 土づくり技術情報「畑作編」”．北海道農業協同組合中央会編．北海道農協「土づくり」運動推進本部発行，2015．

○加藤淳．（全章監修）．北海道の排水・かんがい対策集．ニューカントリー2014年度秋期臨時増刊号．同発行，2014

○竹内晴信．I 畑土壌の特徴と土層改良対策．“畑の土づくり 土づくり技術情報「畑作編」”．北海道農業協同組合中央会編．北海道農協「土づくり」運動推進本部発行，2015．p. 3-18．

○竹内晴信．第3章 畑地かんがい，かんがいの基本的考え方と種類，各種設備のポイントと効果 散水かんがい．北海道の排水・かんがい対策集．ニューカントリー

2014年度秋期臨時増刊号. 同発行, 2014. p. 65-83.

○ Shimizu, M., R. Hatano, T. Arita, Y. Kouda, A. Mori, S. Matsuura, M. Niimi, M. Mano, R. Hirata, T. Jin, A. Limin, T. Saigusa, O. Kawamura, M. Hojito, and Akira Miyata. Chapter III) Mitigation effect of farmyard manure application on greenhouse gas emissions from managed grasslands in Japan. Soil Carbon. Progress in Soil Science. p.313-325.

○日笠裕治. III 土壌診断による効果的な土づくり, 1. 土壌診断の考え方. “畑の土づくり 土づくり技術情報「畑作編」”. 北海道農業協同組合中央会編. 北海道農協「土づくり」運動推進本部発行, 2015. p. 38-39.

○日笠裕治. III 土壌診断による効果的な土づくり, 2. 土壌断面調査. “畑の土づくり 土づくり技術情報「畑作編」”. 北海道農業協同組合中央会編. 北海道農協「土づくり」運動推進本部発行, 2015. p. 39-41.

○日笠裕治. III 土壌診断による効果的な土づくり, 4. 土壌診断に基づいた施肥対応. “畑の土づくり 土づくり技術情報「畑作編」”. 北海道農業協同組合中央会編. 北海道農協「土づくり」運動推進本部発行, 2015. p. 46-48.

○古館明洋. 北海道の排水・かんがい対策集. 第4章 土づくりによる対策 堆肥と緑肥を使いこなす 深根性作物の活用. ニューカントリー2014年度秋期臨時増刊号. 同発行, 2014. p. 113-121.

○坂口雅己. ハウス野菜栽培を土から考える「土壌の特徴と施肥の適性化」. ニューカントリー. 61(7), p. 10-12 (2014)

○櫻井道彦. III 土壌診断による効果的な土づくり, 3. 土壌の理化学性・生物性の診断. “畑の土づくり 土づくり技術情報「畑作編」”. 北海道農業協同組合中央会編. 北海道農協「土づくり」運動推進本部発行, 2015. p. 41-46.

○櫻井道彦. III 土壌診断による効果的な土づくり, 5. 土壌診断の活用による有機栽培. “畑の土づくり 土づくり技術情報「畑作編」”. 北海道農業協同組合中央会編. 北海道農協「土づくり」運動推進本部発行, 2015. p. 50-52.

病虫害部

○清水基滋, 岩崎暁生, 小松勉, 武澤友二, 山名利一, 野津あゆみ, 荻野瑠衣, 橋本庸三, 柿崎昌志, 相馬潤, 西脇由恵, 東岱孝司, 齊藤美樹. 北海道病虫害防除提要 (分担執筆). p. 1-895(2014)

企画調整部地域技術グループ

○五十嵐俊成 (共著). 米の外観品質・食味 - 最新研究と改善技術 -. 養賢堂.

○五十嵐俊成. 良食味米を目指した土壌管理、施肥技術. 平成27年産に向けての米づくり. 北海道米麦改良協会編. 同発行, 2015. p. 87-111

○五十嵐俊成. 良質小麦生産のための施肥および土壌管理. 北海道の小麦づくり. 北海道米麦改良協会編. 同発行, 2015. p. 55-88

○五十嵐俊成. 北海道農業入門新規就農者テキスト (改訂版)[土壌肥料・病虫害編]. 北海道農政部, 2015. p. 1-52.

○Hiroyo Kagami, Masayuki Kurata, Hiroaki Matsuhira, Kazunori Taguchi, Tetsuo Mikami, Hideto Tamagake, Tomohiko Kubo. Chapter27 Sugar Beet (*Beta vulgaris* L.). *Agrobacterium Protocols Volume 1*. Wang, Kan(Ed.). Springer. New York. 2015. p.335-347

企画調整部地企画課

○杉本昌仁. 3. でん粉粕サイレージ. 地域に存在する自給飼料の評価と肉用牛への給与. 北海道酪農畜産協会編, 2015. p. 18-23

(5) 新聞等記事

作物開発部

○藤田正平. 道央転換畑地帯の大豆狭畦栽培における適性な栽植密度. 農業共済新聞 (2014. 5. 7)

○吉田昌幸. 新しいりんごの品種特性. 農業共済新聞 (2014. 11. 19)

○池永充伸. 甘くて美味しい北海道オリジナルぶどう新品種「スイートレディ」. 農業共済新聞 (2015. 2. 11)

○鈴木孝子. DNAマーカーを利用した品種改良について. 北海道新聞 食の大地コーナー. (2014. 9. 10)

○柳原哲司. 北海道米の新しい業務用適性評価法, 農業共済新聞 (2014. 9. 24)

○阿部珠代. 超強力小麦「ゆめちから」. 農業共済新聞. p. 13 (2014. 6. 11)

遺伝資源部

○吉村徹, 荒木和哉. # 292 徹底管理で行う種子生産を学ぶ編. 森崎博之のめぐり王国北海道. 北海道放送テレビ. (2014. 6. 7)

生産研究部

○濱村寿史. 有機トマトを導入する小規模経営の安定化方策. 農業共済新聞 (2015. 3. 4)

○平石学. 「農産物生産費集計システム」を活用した水

- 田作経営向け経営分析法. 日本農業新聞 (2014. 9. 29)
- 尾崎洋人. 水稲品種「空育180号」と「きたくりん」の紹介. 日本農業新聞 (2014. 9. 3)
- 長田亨. ブランド米生産に向けた「ゆめぴりか」の栽培指針. 日本農業新聞 (2014. 6. 4)
- 木下雅文. 水稲新品種「空育180号」. 農業共済新聞(2014. 12. 3)
- 尾崎洋人. 酒造適性が良好な水稲新品種「きたしずく」. 農業共済新聞(2015. 2. 18)

農業環境部

- 古館明洋. 新技術に挑戦 タマネギ畑の土づくり. 日本農業新聞. (2014. 9. 10)

病虫部

- 小松勉. 平成25年度に新たに発生した病害虫. 農業共済新聞. 2014. 4. 16 (2014)
- 小松勉. 平成26年に特に注意を要する病害虫. 農業共済新聞. 2014. 4. 23 (2014)

企画調整部地域技術グループ

- 五十嵐俊成. 「ゆめぴりか」のアミロース含有率早期予測法. 農業共済新聞. 2014. 8. 13.
- 五十嵐俊成. 「ゆめぴりか」のアミロース含有率早期予測法. 日本農業新聞. 2014. 8. 6.